

六漕砂防堰堤工事の思い出

●その当時は今のような便利な機械もなかったし、全部人力で工事をしました。今の人はモッコ担ぎなんて言っても想像もつかないし、見た事もないだろうと思いますが、私はほとんどモッコ担ぎ専門でした。その当時の機械はコンクリートを練るためのミキサーと運搬するためのトロッコぐらいのものでした。道具はツルハシ、スコップやジョレンしか無かったです。

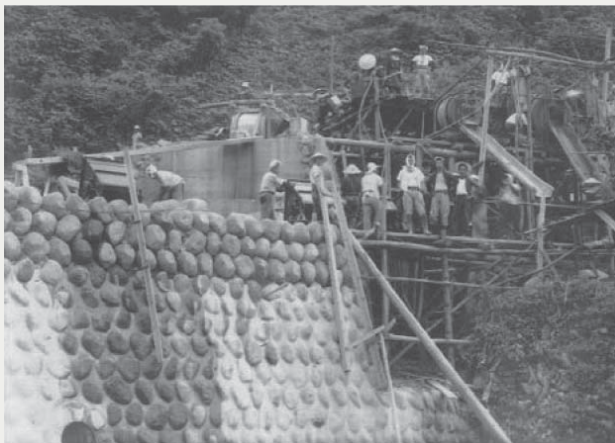
(立谷沢川の記憶より：辻 勇之助氏)

●六漕堰堤の石は全部、立谷沢川の新田辺りから集めた石の中から拾いました。六漕の堰堤の石は大きくて、1人2人では担ぐことができませんでした。昔はクレーンがないから、4人くらいでやっと担いでいました。石屋は1人で動かして彫っていたけれど。今の子達は担げない、骨を折ってしまうと思います。

(立谷沢川の記憶より：佐藤 福治氏)



昭和 24 年頃の六漕砂防堰堤の工事の様子



昭和 25 年頃の六漕砂防堰堤の工事の様子